



学校訓「凡事徹底・脚下照顧」

目指せ！挨拶日本一

神崎中だより



始業式の放課後、力作完成です！

令和4年1月号 【学校教育目標】「知・徳・体」の調和がとれた、心身ともにたくましい生徒の育成

校内書き初め大会 ～書に心を込めて～

1月7日（金）、始業式の後に、校内書き初め大会（1・2年生）が行われました。体育館で行う予定でしたが、寒さ対策のため各教室で実施しました。生徒たちは、1文字1文字に心を込めて取り組むことができました。BGMは『春の海』で雰囲気盛り上げました。



1年生の皆さんの様子です。心を落ち着かせて取り組んでいます！



姿勢よく集中しています！



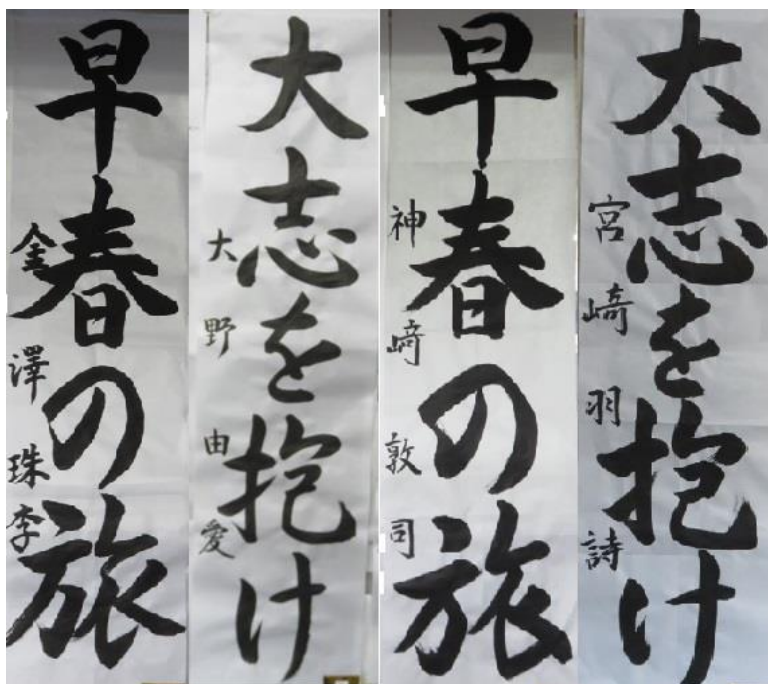
2年生の皆さんの様子です。1文字1文字に集中しています！



氏名にも「心」を込めています！

【入賞者一覧】

学校長賞	1年B組	金澤	珠李
教頭賞	2年A組	大野	由愛
金賞	1年A組	神崎	敦司
	2年B組	宮崎	羽詩
銀賞	1年A組	山口	七聖
	1年B組	塚本妃伽梨	
	2年A組	宮ヶ崎由衣	
	2年B組	渡辺ひより	
銅賞	1年A組	椎名	樹里
	1年A組	柳町	葵奈
	1年B組	椿	悠雅
	1年B組	吉澤	寧花
	2年A組	飯田	雅也
	2年A組	篠塚	萌依
	2年B組	北崎	花奈
	2年B組	福田	光希



金澤 珠李さんの作品は、第74回千葉県小中高校書き初め展中央審査会に出品中です。

・成績発表 2月15日（火） ・展覧会 2月15日（火）～20日（日）千葉県立美術館

人権集会 ～講師 人権擁護委員 藤崎 祥雄 先生～

1月12日（水）3・4校時に、延期になっていた人権集会を生徒会主催で行いました。密を避けるため、会議室（2年生）と視聴覚室（1年生）に分かれてリモートで実施しました。

初めに、福田光希さん（2年生）が人権作文『善意の差別』を朗読し、全員で真剣に聞きました。 ※全国中学生人権作文コンテスト香取協議会大会 最優秀賞（神崎中だより12月号で紹介 学校HP掲載）
続いて、人権擁護委員の藤崎祥雄先生の講演を聞き、人権について多くのことを学びました。



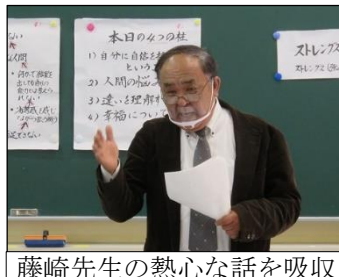
人権作文発表



2年生は会議室が会場です。生徒会の皆さんが運営しました。



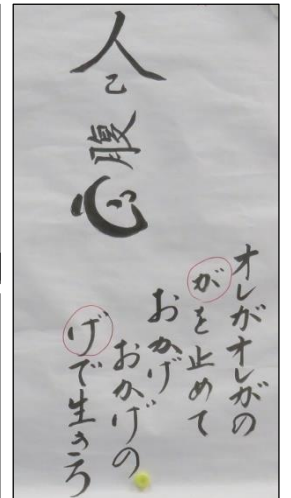
1年生は視聴覚室でリモート視聴



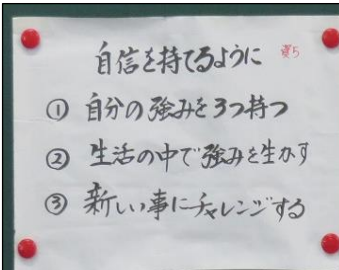
藤崎先生の熱心な話を吸収



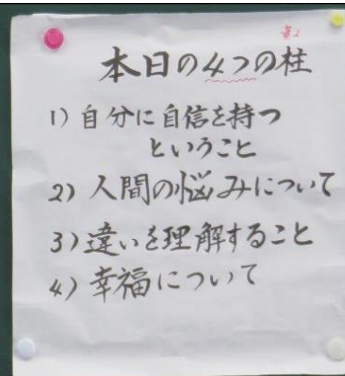
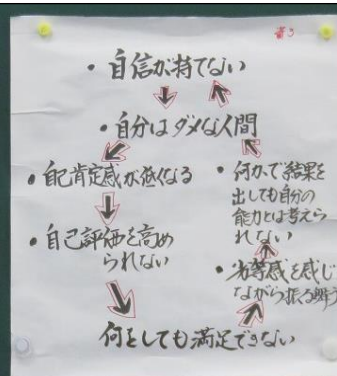
「反りが合う」について体感



人を立てて
己は小さく
腹は立てずに
心は丸く



誰でも必ず何か
強みがあります！



自信を持てるように

- 1 自分の強みを3つ持つ
- 2 生活の中で強みを生かす
- 3 新しいことにチャレンジ

【生徒の感想より】

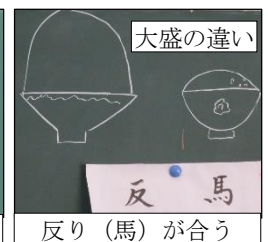
○人権について深く考えることができました。自信がもてない状態になってしまうと何もかもがマイナス思考になってしまいます。これからは、自信をもって様々なことにチャレンジしようと思いました。また、差別について知ることができたので、日常生活で人権について気を付けながら友達と話していきたいです。普段の生活の中で自分の強みを生かせるようにしたいです。（1年生）

○誰にでもストレスや悩みがあり、ためてしまうとパニックに陥ってしまうことを学びました。ため込んでしまう前に、友達や家族に相談していきたいです。また、人は皆違って当たり前なので、個性として認め見方を変えて良いところを見つけて認め合っていきたいです。（1年生）

○人によって考え方や個性が全く違うことを改めて学びました。以前まで私は平等という言葉を理解していませんでした。人には差別が残って平等でないところがあること、人の考え方を尊重しなくてはいけないという想いが強く残りました。これからは、自分の幸福や相手の立場をよく理解して行動していきたいです。また、もっと人との関わりを増やして、コミュニケーションをうまくとっていききたいです。（2年生）

講話の4つの柱

- 1 自分に自信を持つ
- 2 人間の悩みについて
- 3 違いを理解する
- 4 幸福について



避難訓練 ～不審者対応～

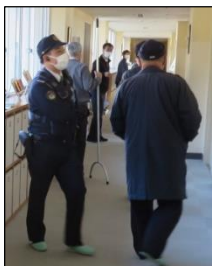
1月12日（水）5・6校時に、不審者対応避難訓練を行いました。香取警察署生活安全課、郡駐在所の警察官の方々にご協力いただきました。不審者の校内侵入を想定の下、どのように行動したら安全に避難できるか、危険を回避する方法等について学びました。



2年生の教室に突然侵入！



不審者侵入の放送（合言葉）により急いでバリケード設置！ 工夫されています。



各階の状況確認



警察官の皆様より指導



話を集中して聞いています。パニックにならないように心の準備！



【指導いただいた主な内容（生徒向け）】

○バリケードを早く作れていた教室が多かった。

☆不審者に気付いたら、大声を出して周りに知らせる。

☆進入してきたら、ベランダ等を使用して様々な方法で逃げる。

【2年生徒の感想より】※設定：犯人役がバリケード設置前に2年生教室侵入！

「何も反応できなかった。動けなかった。」

「やられたと思った。自分の身を守ることができなかった。」



椿生徒会長より御礼

私立高等学校入試

～3年生の皆さん、よく頑張りました！～

1月上旬より私立高等学校の入試が始まり、受験者の皆さんは本当によく頑張りました。

【3年生の皆さんへ】

2月24日（木）～千葉公立高等学校入学選抜まであと3週間、最後の追込みで日々充実させていくことが大事です。

努力を重ねることで、**知識がつながり急に成績が伸びる**ことがよくあります。健康第一で、学習・食事・睡眠・適度な運動を心掛けて頑張っていきましょう！



神崎駅での見送り

成木餅 ～五穀豊穡、無病息災～

自家製の成木餅（なりきもち）を2年生の保護者（椿 佳也さん）から2本頂きました。正面玄関と2年生廊下に、それぞれ飾ってあります。

※木を稲に、餅を稲穂に見立てて、豊作祈願や無病息災を願う年中行事です。



↑ 玄関 2年生廊下→



学校評価ありがとうございました！

保護者の皆様からの「学校評価」の結果を、1月20日（木）に配布いたしました。皆様からいただいた評価、ご意見を真摯に受けとめ、神崎中学校生徒の健全な成長のため、職員全員で取り組んで参ります。また、応援や激励のお言葉を多くいただき、心より感謝申し上げます。

今後とも益々のご協力とご支援の程お願いします。（詳細は学校ホームページ掲載）

第 67 回青少年読書感想文千葉県コンクール ～優秀賞に北崎さん～

12月10日（金）第67回青少年読書感想文千葉県コンクールで、北崎花奈さん（2年生）の作品が優秀賞に選ばれましたので、紹介します。

『人との関わりを大切に』

図書名『ウィズ ユー』

北崎 花奈

「私は、いなくなてなれないんだ。私がいなかったら、うちが壊れちゃうから。」この言葉を聞いた時私はぞっとした。朱音は、胸の中をナイフで突き刺されるほど辛く、わっと泣きたいくらい苦痛を味わっていたはずだ。私は今まで、この平和な日本において、こんなにも辛く苦しい思いをしている私と同年代の学生がいるなんて、考えたこともなかった。しかし、中学生のおよそ十七人に一人が「ヤングケアラー」であるという現実を知り、大きな衝撃を受けた。

私の父は、1年ほど前に馴染みの無い病気にかかってしまった。ありがたいことに、現在は普通に生活することができるまで回復している。私には母や祖父母も居るので、朱音のような環境にはならなかったが、あの時は父も悩んでいたし、私も家族も心配の毎日だった。家族に病気の人がいるだけでも辛いというのに朱音は中学生でありながら家事や母の介護、妹の面倒まで見ていたのだ。私は、自分の事で精一杯で毎日家の手伝いはほとんど出来ないし、弟とはけんかばかりで朱音のような生活は考えられない。だから、朱音の頑張る姿にとっても感心させられ、今からでも家の手伝いをしっかりとしようと思った。

そんな朱音の支えは、悠人の存在だった。悠人の行動がとても優しく、朱音の心に響き、彼女の心を動かしたのだろう。二人が出会えて、自分の心の中にしまっていたものを話すことができ、朱音も少しは楽になったのではないかな。そして、受験生の悠人が「何もできないけれど、聞くしかできないけど。」と朱音を大切にすることが、十分に伝わってきた。公園の敷石に書いたメッセージや朱音に宛てた手紙は、自分の気持ちを真っすぐに伝えていて、特別な感情にあふれ、温かい気持ちになった。「夜九時に一分だけでもいいから、空を見てくれたら……。」確かに離れていても、大切な相手も、同じ空を同じ様に思いながら眺めるなんて素敵だ。一日のうちの一分間だけでも通じ合えていると思うだけで、不思議とパワーが出て、前向きに頑張ることができるのではないだろうか。改めて、人の優しさや愛情は、大きな力があると思った。

悠人についても父が別居したり、受験を控えていたり、様々な問題を解決しながら進んでいく姿に深く感動した。また、すれ違う家族の中に、それぞれの愛が詰まってみえた。兄はとても厳しい言葉を悠人に向けてきたが、悠人を思い、家族としてよく考えていた。初めは、勉強が出来るから出来ない人の気持ちがわからなくて厳しいのかと思った。しかし、兄なりに周囲からの期待によるプレッシャーがあり大変なんだろうと思うようになったら、兄の優しさを垣間見ることができて、ほっとした。私にも弟がいるので、兄弟で比べられることが多々あり、その時には、居心地が悪い。しかし、私が熱を出した時に、私の大好きなプリンを買って来て、心配そうに部屋まで持ってきてくれたことがある。毎日一緒に過ごしているから気付かないが、やはり兄弟は、互いを慕う心を持っているようだ。「私が頑張るしかない。だって逃げるわけにはいかないでしょ。」朱音がもらした本音からは、助けを求められずに孤立した状況が今にも伝わってくる。貧困や家庭内暴力と同じように大きな社会問題の一つとして、多くの支援が受けられるようになれば良いと思う。ヤングケアラーは、人に話す事をためらったり、自分自身では気付かなかったり、子どもには大きすぎる責任を背負ってしまう。そのため、自分からは助けてというサインを出すことが難しい。私だったら、心も体もすぐに潰れてしまうにちがいない。だから、ヤングケアラーを救うためにも、小さな発信でも気付けるような環境作りをすることが、今の日本社会に求められている重要なことだと思う。

「With you」とは、悠人にとって朱音のことだけを指すのだと思っていた。しかし、読み進めていくうちに、悠人の大切な家族や友達などを表しているのではないかなと思うようになった。人は一人では生きてはいけないからこそ、人との関わりを大切にすべきだ。誰かと寄り添うことで、また支え合うことでお互いに生きていけると思う。誰かの行動が誰かに光を与える。それがつながり、大きな輪となって今の世界があるのだろう。これから私にも悠人にもたくさんの出会いがあるはずだ。その出会いを大切に、悠人の様に心や想いを通わせて、温かい関係を築きたい。私には、家族、友達、先生、信頼できる人がいていつも周りで支えてくれている。だから、今の私がある事に感謝の気持ちを忘れてはいけない。同時に、私も誰かを支えていける人になっていかなければと思っている。そっと手を差しのべられるような思いやりや優しさを持ち、自分らしく精一杯生きたい。「With you」未来へ続く希望の道を歩んでいこう。そして私もつないでいこう、人と人との大きな輪を。

【今後の主な行事予定】

- 2月 9日（水）～千葉公立高校入学選抜願書提出 ※17日（木）～志願・希望変更
- 18日（金） 学校評議員会
- 24日（木）、25日（金） 千葉公立高校入学選抜、1・2年期末テスト
- 25日（金） 新入生体験入学
- 3月 4日（金） 3年生を送る会、PTA監査・新旧役員会
- 9日（水） 卒業式 11日（金） 学年末保護者会

